



CFTC建玉報告:円/ドル、ユーロ/ドル(6月5日時点)

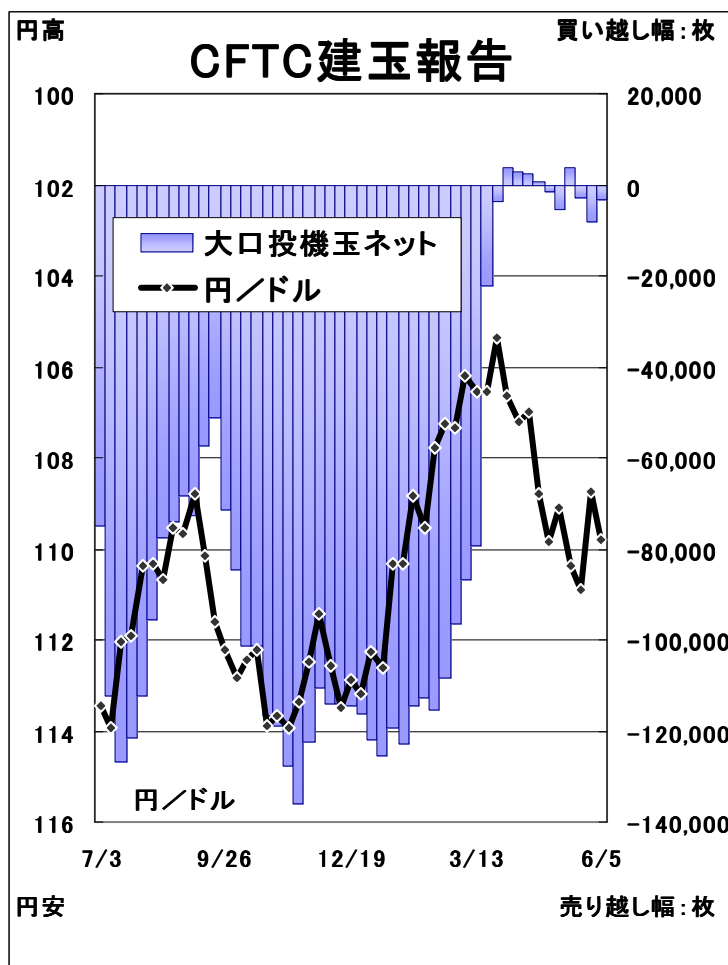
米商品先物取引委員会(CFTC)が6月8日に発表した建玉報告によると、5日時点のシカゴ・マーカンタイル取引所(CME)IMM通貨先物円(対ドル)相場の大口投機筋(非商業部門)の売越幅は3437枚となり、前週と比べ4599枚縮小。投機筋は売り買い共にポジションを減らし、売りポジションをより多く減らしていた。

期間中の円(対ドル)は軟調。米労働省が1日に発表した5月の雇用統計は、失業率が3.8%と前月(3.9%)から低下し、2000年4月以来18年1カ月ぶりの低水準。非農業部門の就業者数も季節調整済みで前月から22万3000人増え、市場予想の18万8000人増を上回った。また、物価上昇の先行指標として注目される平均時給が前年同月比2.7%増と、適度に伸びたことが、米連邦準備制度理事会(FRB)が想定する利上げペースにほぼ沿う内容だと受け止められたことで、景気の先行きに楽観的な見方が広がり、対主要国通貨でのドル買いが進行した。

期間中のユーロ(対ドル)は下落。大口投機玉の買越幅は、8万9236枚となり、前週比3801枚縮小。

イタリアでは混乱の末に新政権が発足し、投資家のリスク回避は一段と後退。スペインではラホイ首相の不信任案が可決されたものの、政権交代が整然と実現したことで、ユーロは買い戻された。ただ、欧州連合(EU)は1日、米国がEUに適用した鉄鋼、アルミニウムの輸入制限措置をめぐり、世界貿易機関(WTO)に提訴。総額64億ユーロ(約8200億円)相当の米国産品に関する報復関税の準備も始めたことで、貿易摩擦への警戒感が広がり、上げ幅は限られた。

日付	円/ドル		ユーロ/ドル	
	終値	枚数	終値	枚数
02/06	109.54	-112,876	1.2373	140,823
02/13	107.78	-115,509	1.2356	127,289
02/20	107.24	-108,338	1.2336	126,126
02/27	107.36	-96,651	1.2231	137,977
03/06	106.20	-86,845	1.2405	132,972
03/13	106.54	-79,539	1.2391	146,380
03/20	106.53	-21,999	1.2240	132,739
03/27	105.38	-3,668	1.2401	141,064
04/03	106.62	3,572	1.2268	134,381
04/10	107.19	2,761	1.2352	147,463
04/17	107.01	2,591	1.2373	151,476
04/24	108.81	583	1.2231	130,594
05/01	109.85	-1,405	1.1991	120,568
05/08	109.12	-5,462	1.1864	120,505
05/15	110.36	3,680	1.1837	115,114
05/22	110.91	-2,767	1.1777	109,744
05/29	108.75	-8,036	1.1535	93,037
06/05	109.79	-3,437	1.1715	89,236
前週比	1.04	+4,599	+0.0180	-3,801



第一商品株式会社 〒150-0045 東京都渋谷区神泉町9番1号 神泉プレイスビル フューチャーズ・24

このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので投資勧誘を意図するものではありません。投資の最終的な決定はご自身の判断と責任でなされますようお願い致します。レポートに記載の内容等は作成時点のものであり、当社はその正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく修正、変更されることがあります。商品先物取引業者 日本商品先物取引協会会員 当社お客様相談窓口(東京・本社) 0120-770-266、日本商品先物取引協会相談センター東京本部 03-3664-6243。